

熱海写真俳句平成30年2月句会

優秀作・杉山榮一さん



炒り豆を頬一杯の福は内

昔の節分での豆撒きでは、鍋で大豆を炒って撒いていました。豆は年齢の数だけ食べて、囲炉裏には12個の豆を並べて占いしました。しかし今は福豆を買ってきて撒いています。紹介したこの写真は、当地の「鬼払い」という行事で「お印」に各家に配られてきたものです。